

美しい山形・最上川フォーラム
～村山地域部会主催・やまがた酸性雨ネットワーク協力事業～

夏休み体験学習会
「最上川を調べてみよう」
～ 参加者募集 ～



最上川の流れの元となっている森の中を調べよう。
近年、大気汚染物質によって雨や雪は酸性化しています。森に降った雨や雪はどんなふうにな中性の水になって最上川へ流れていくのかな？

🌱 調べるのは…

- 1 いつ 平成 23 年 7 月 30 日 (土) 8:45～15:00
- 2 どこで 山形県立自然博物館 (西川町)
- 3 何を調べるの? (森の中で色々な水の pH などを調べるよ)
 - ① 雨の pH
 - ② 石跳川 (博物館内の川) の pH
 - ③ 園内の湧水 (月山の湧水・元玄海) の pH
 - ④ 森の中の土を通った雨水の pH
 - ⑤ 森の中の樹木や植物



※先生は、森林インストラクターの方とやまがた酸性雨ネットワークの皆さんです。
(やまがた酸性雨ネットワークでは 11 月に「酸性雨一斉調査」をします。詳しくは裏面に!!)

🌱 小学校高学年から大人までどなたでも参加できます。(☆児童は保護者同伴)

🌱 定員 30 名まで (先着順) ※貸し切りバスにて移動 🌱 参加費 無料

🌱 集合場所 ①8:45 山形駅西口⇒②9:00 県庁前⇒③9:15 寒河江 SA 駐車場
⇒⇒やまがた自動車を通して山形県立自然博物館へ出発

🌱 調査終了後 山形県立自然博物館から⇒⇒③寒河江 SA 駐車場⇒②県庁前⇒
① 山形駅西口へ ※15:00 解散 (予定)

- 持ちもの: 筆記用具、お弁当、飲み物、雨具 (フード付きのレインコートなど)
- 服 そう: 森の中を歩くので歩きやすい服と靴 (雨天時は長靴)、帽子

参加希望の方は、下記応募用紙に記入して、美しい山形・最上川フォーラム事務局まで、FAX:023-666-3738 または E-mail: sh-mogamigawa@festa.ocn.ne.jp でお申し込みください。(☆ご質問・お問い合わせ TEL:023-666-3737)

《参加申込書》

氏名①		※児童の場合保護者名を記入
氏名②		児童の場合 学年: 年生
氏名③		児童の場合 学年: 年生
住所		
連絡先電話番号		

◇ 美しい山形・最上川フォーラムとは ◇

会 長 柴田洋雄 (放送大学山形学習センター所長・山形大学名誉教授)

会員数 約 4,700 名 (平成 23 年 6 月 30 日現在)

- 山から海、人から人、過去から未来へ流れる最上川を、美しい元気な山形づくり運動のシンボルに掲げ、平成 13 年 7 月 26 日に発足。
- 県民、事業者、行政、大学、NPO 等が連携・協同し活動して、今年で 10 周年を迎える。
- 水環境を守り育て、地域文化を発掘し、地域経済活性化する“100 年プラン”を基に、全県で活動を展開中。
- 平成 20 年度日本水環境学会「水環境文化賞」、21 年度 日本河川協会「第 12 回日本水大賞奨励賞」を連続し受賞。

主な活動

- ・最上川夢の桜街道づくり (桜植栽維持管理活動)
- ・身近な川や水辺の健康診断 (県内一斉水環境 (簡易水質) 調査)
- ・美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン

連絡先：美しい山形・最上川フォーラム事務局

〒990-0041 山形市緑町 1-9-30 緑町会館

TEL : 023-666-3737 FAX : 023-666-3738 E-mail : sh-mogamigawa@festa.ocn.ne.jp

H P : <http://www.mogamigawa.gr.jp/> 最上川フォーラム [検索](#)

◇ やまがた酸性雨ネットワークのご紹介 ◇

- 県内の酸性雨の状況やその生態系への影響に係る調査研究等を実施している機関などが広く情報交換を図ることを目的に平成 13 年 7 月に設立。
- 構成：大学等の高等教育機関、公設試験研究機関、市民団体、民間の計量機関および行政機関の 22 機関、4 個人、計 27 名。
- 会 長 柳澤 文孝 (山形大学理学部 教授)
副会長 大歳 恒彦 (東北公益文化大学 教授)
事務局 山形大学理学部 柳澤研究室

★ お知らせ ★

やまがた酸性雨ネットワークでは 11 月に「酸性雨一斉調査」を実施します。

お問合せ・参加申し込みは下記連絡先まで。

山形県環境科学研究センター 大気環境部 担当：村岡

TEL : 0237-52-3127